

令和5年度第4回さいたま市福祉局指定管理者審査選定委員会 議事概要

- 1 日 時 令和5年12月20日（火） 14時00分～16時00分
- 2 会 場 本庁舎2階 特別会議室
- 3 出席者 （委 員） 水谷委員長、高重委員、清水委員、品川委員、竹内委員、
山口委員、兼山委員
（所管課） 高齢福祉課
（事務局） 福祉総務課
- 4 欠席者 なし
- 5 諮問内容と答申結果
選考方法案について諮問を受け、次のとおり答申した。

施設名称	施設数	募集方法	指定期間	指定管理者案
健康福祉センター東楽園	1	公募	令和7年4月1日～ 令和10年3月31日	さいたまユニバーサル・ウエルネス JV

6 議事要旨

施設の指定管理者候補者案選定に当たり、指定管理候補者の公募受付を行った結果、2団体から応募があった。提出された事業計画書等に基づき、申請団体によるプレゼンテーション及び各委員からの質疑を行った後、各施設の指定管理者候補者案を選定した。

①健康福祉センター東楽園

【A団体（健康応援”さいたま・見沼”パートナーズ）への質疑等】

Q 自治会や老人会等地域コミュニティの団体と継続的に協議を実施していただきたいと考えるがいかがか。

A 当団体は、見沼区内で施設管理を行っている実績がある。定期的に近隣の方とのミーティングの機会を設けたいと考える。例えば、施設と利用団体の懇談会が年1・2回あるので、そのような機会に近隣の方とのミーティングを開催したいと考える。

Q 飲食コーナーを委託することだが、採算について、どのように考えているか。

A 最初の3年間は相当苦しいことが想定されるが、駅構内でPRするなどの施策を打ち、少しでも売り上げに貢献していこうと考えている。また、当団体は、関連施設がさいたま市内にある。お客様が多く来場されることが飲食コーナーの売り上げ確保に重要と考えるので、関連施設からお客様を呼び込むことも併せて考えていきたい。

Q 回数券は、紙又は電子、どちらを想定しているのか。

- A 紙・電子両方とも運用可能である。
- Q 市の仕様書に記載させている備品以外で、常備する備品はあるか。
- A 振動マシンやフォームローラーなどのトレーニング機器を準備したいと考えている。
- Q 事業の立ち上げ時は、経営面・管理経費等について、困難な部分があると考えてるが、利用料金収入が3年間均等の数字となっていることについて、どのように考えるか。
- A 利用料金収入については、初年度から均等という形にならないかもしれないが、仕様にあるイベント等を実施するとともに、近隣の施設から積極的に集客をしていきたいと考えている。また、継続して来ていただき、利用料金収入を維持することにも力を入れていきたいと考えている。
- Q 幅広い事業実施の提案や多くの地域団体との連携の提案がされているが、提案内容の実現性について詳しく教えてほしい。
- A 自主事業のプログラムについては、基本的に別の施設で、類似のプログラムの開催実績があるものである。地域の方の農産物の販売については、例えば、最初は週末だけ開催し、慣れてきたら開催日数を増やせるかどうか協議していきたいと考えている。元々地域で実施していた様々なお祭りや活動については、私達の施設でも、お客様に向けたイベントという形で実施してきた。私達の持つノウハウを地域の活動に組み込むことによって新しい切り口の提案ができると考えている。
- Q A 団体の構成企業については、公共施設の管理運営の実績がないということだが、指定管理者として指定された場合、公共施設の管理について、どのような点を留意するのか。
- A 市の公の施設ということで、民間の施設とは異なり、公平・平等である必要があると感じている。構成企業については、これまでも運動型のデイサービスを運営しており、民間ではあるが、全てのお客様を受け入れる等、位置づけとしてはかなり公共性が高い事業を実施している。公共施設の管理に当たっては、公平・平等という点について、より深く考え、十分に意識していきたいと考えている。安全面については、これまでも最大限に留意してきたので、本施設の運営においても、十分留意していきたいと考えている。
- Q 浴室とプールの水質検査について、ルールで定められている以上に実施すると提案されているが、提案いただいた検査回数とした理由はあるのか。
- A 様々なシミュレーションを行い、コストを勘案した上で定めた回数である。私達のグループは、安全を一番に考えており、既存の施設においても同様の水質検査を実施している。
- Q 大学の方の知見を活かした健康づくりの企画等もあるが、ターゲットは高齢者の方だけなのか。
- A 若い方でも健康に関心を持たれている方もいるので、高齢者に限定せず、講座を開講していきたいと考えている。
- Q 本施設の近隣には高校があると思うが、若い世代の方の対応はどのように考えるか。
- A 文化部の学生等、運動する機会が少ない方が積極的に利用していただけるような提案をしていきたいと考えている。

- Q 昨今、光熱水費が高騰していると思うが工夫している点はあるか。
- A 施設の自動制御設備を施設の状況に合わせてセットアップするとともに、温水や空調の制御等を一括して的確にコントロールすることによってエネルギーの効率が良くしている。また、プールについては、冬場に水面にシートを引くことによって外気温からの水温の低下を防ぐことを実施している。
- Q イベント時に、大宮駅から無料送迎バスを運行するとあるが、どのようなイベントで年間どのくらいの運行を予定しているのか。
- A 提案しているイベントの内、近隣の地域だけでなく、市内全域から人を呼びたいイベントについて、年間5つ程度、大宮駅から無料送迎バスを運行したいと考えている。
- Q 企画書8ページに「利用者の要望の反映事例」とあるが、ここに記載されている要望は、当施設の立ち上げから対応するのか。それとも施設で要望があってから対応するのか。
- A 記載の事例については当初から対応する予定である。
- Q 利用者ニーズに対応する体制について、ヒアリングや懇談会等を行うこととなっているが、参加者はどのように選ぶのか。メンバーが固定されてしまうと一部の声しか反映されなくなってしまうのではないか。
- A 利用頻度が多い登録団体等の声だけでなく、利用頻度が少ない方等の声も反映できるように意識していきたい。また、登録団体とは別に、類似の団体がないか等、市に確認していきたい。
- Q 多数意見を反映した方が施設の稼働率は上がると思うが、一方で、公共施設であることから公平性も重視する必要があると考えるが、稼働率と公平性のバランスのとり方についてどのように考えているか。
- A 相反する意見が出た場合は、公共施設の運営に関する専門家に相談させていただくとともに、市に相談し、市と連携して対応していきたいと考えている。

【B団体（さいたまユニバーサル・ウェルネスJV）への質疑等】

- Q 利用者数目標値の根拠を教えてください。
- A 構成団体が管理している健康福祉センターの利用状況及び令和3年度国勢調査による近隣の住民数を参考に算出しており、十分に達成できるものと考えている。
- Q 地域の活性化に取り組んでいることがよくわかる。継続的に実施するために、市民参加と第三者の意見を踏まえ、常にPDCAサイクルを回して事業を前進させていただきたいと考えているがいかがか。
- A 地域の自治会と協議をさせていただきながら、今後、運営が始まる前段階から、施設を運営していく上での検討会を立ち上げ、地域の意見を聞きながら運営していきたいと考えている。
- Q 地域のニーズを把握するに当たって、自治会以外にお話しした団体等があれば教えてください。
- A 近隣の高校、市スポーツ協会及び市観光協会等、一度協議させていただいている。

- Q 利用者懇談会については、仕様書上、年1回以上開催となっているが、どのくらいの頻度で開催する予定か。
- A 最低限、年1回は開催しつつ、ニーズに合わせて回数を増やすことも検討している。
- Q 事業収入として、介護保険事業は考えているか。
- A 考えていない。
- Q リピーターのためのポイントカードの媒体は電子又は紙のどちらを想定しているか。
- A 電子・紙の両方とも対応可能としていきたいと考えている。
- Q さいたま市の健康マイレージに関する活動やPRは考えているか。
- A 所管課と協議の上、できることは協力していきたい。
- Q 仕様書上にある備品以外で、導入する主な備品は。またその備品を導入してどのような活動を行う予定か。
- A 代表的なものとして、機能回復訓練室のマシンを用意しようと考えている。また、キッズスポーツパーク、デイキャンプ、屋外の図書スペースの設置等を展開しようと考えているため、それらに係る備品類を準備する予定。
- Q 人材育成に関する取組を教えてください。
- A 代表団体においては、入社時の研修に加え、社内大学という形で社内の様々な業務を覚えてもらえるような勉強会を実施している。また、施設責任者などを対象とした経理・教育・マネジメントに関する研修を行っている。構成団体においては、社内にトレーニング部会やプール部会を設けており、それらの部会から講師を招いて、定期的に運動指導、水難救助訓練などを実施する。
- Q 様々なプログラムが提案されているが、各プログラムの開催回数について基準はあるか。
- A 毎週実施する運動教室のようなものから、関係各社と準備・調整を要するイベントなどあることから、準備期間を踏まえて無理なく確実に実施できる回数を提案している。
- Q イベントも含め、一番アピールしたい点はあるか。
- A 構成団体については、健康事業において運営実績がある点。また、地域連携の理念に沿った事業として、「超学園祭」や「キッチンカー選手権」についても自信をもって実施していきたいと考えている。
- Q 自主事業を展開することで、個人や団体利用の予約に支障は生じないか。
- A 市の想定する施設の稼働率を参考として、稼働していない施設を活用して自主事業を展開することを想定している。団体利用者や個人利用者が利用できないということがないようにしていきたいと考えている。
- Q 提案にあった「未来チケット」について、他施設での実績はあるのか。悪用される懸念もあるが、防止策等はあるか。
- A 今回初めての取り組みとなる。盗難等のリスクが考えられるので、従業員の目の届く箇所で管理する等、実施に当たっては、開催実績のある団体と協議を重ね、トラブルが起こらないような運用形態を模索していきたい。

Q 東楽園独自のPRポイントはあるか。

A 地域と連携して、地域全体で活性化を図るようなイベントを積極的に実施していきたいと考えている。また、飲食については、高齢者だけでなく全世代向けのメニューを展開していきたいと考えている。

【結果】

申請団体は2団体であり、提示された指定管理料は市の積算額の範囲内であった。

A団体（健康応援”さいたま・見沼”パートナーズ）の審査を行った結果、1,123.9点となった。また、B団体（さいたまユニバーサル・ウェルネスJV）の審査を行った結果、1,140点となった。

指定管理業務に係る経費、管理運営体制等を上記のとおり総合的に評価した結果、B団体（さいたまユニバーサル・ウェルネスJV）を指定管理者候補者案として選定した。

以上